

## レッソムライスクッキング

「明日はみんな遊びにくるな~。」

「そうだなえ。」

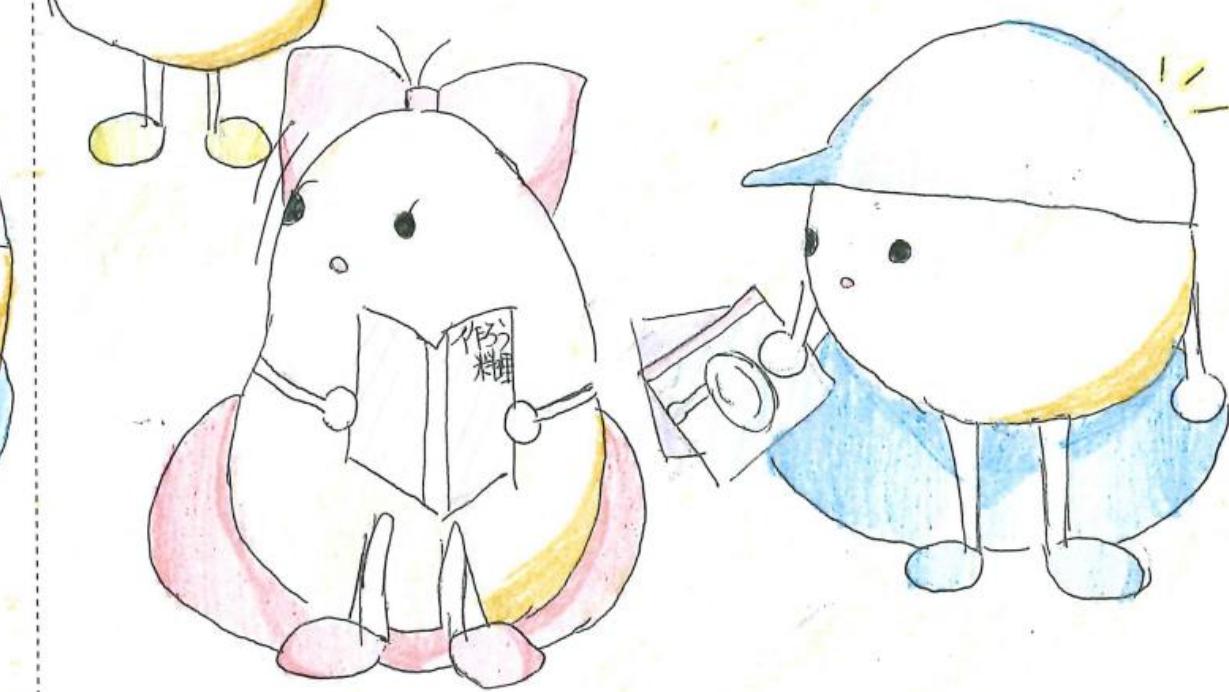
な、どうのな、っちゃんとうちゃんはこまつように言いました。  
二人がこまつている理由は、明日友達が遊びにきます。そ  
のときに二人がお昼をごちそうすることになっているからです。  
二人は料理があまり得意ではないのです。



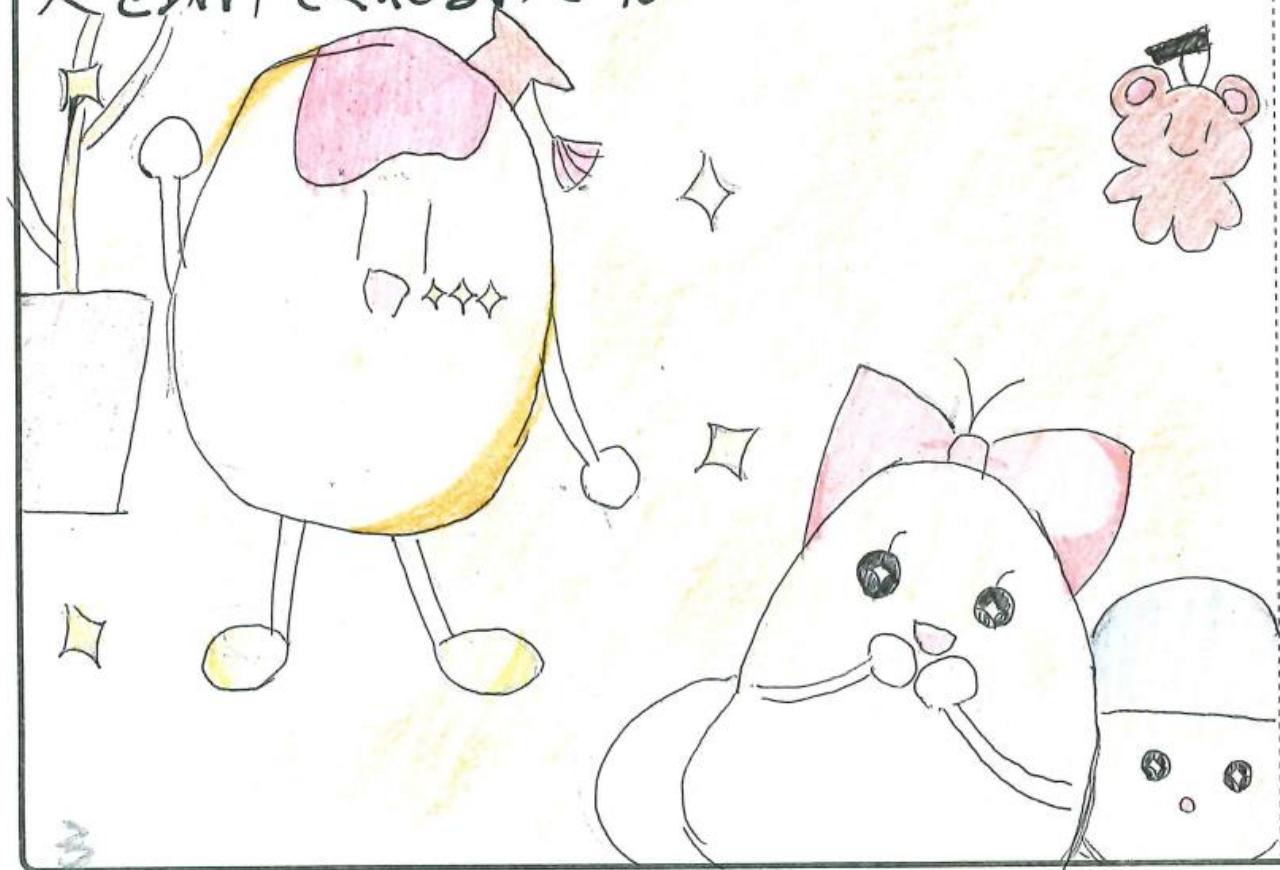
「どうしよう。みんなを喜ばせたいのに…。何か方法は  
ないかな?」

な、っちゃんがこまつはてて言いました。そのとき、  
「なにかこまつてる?」

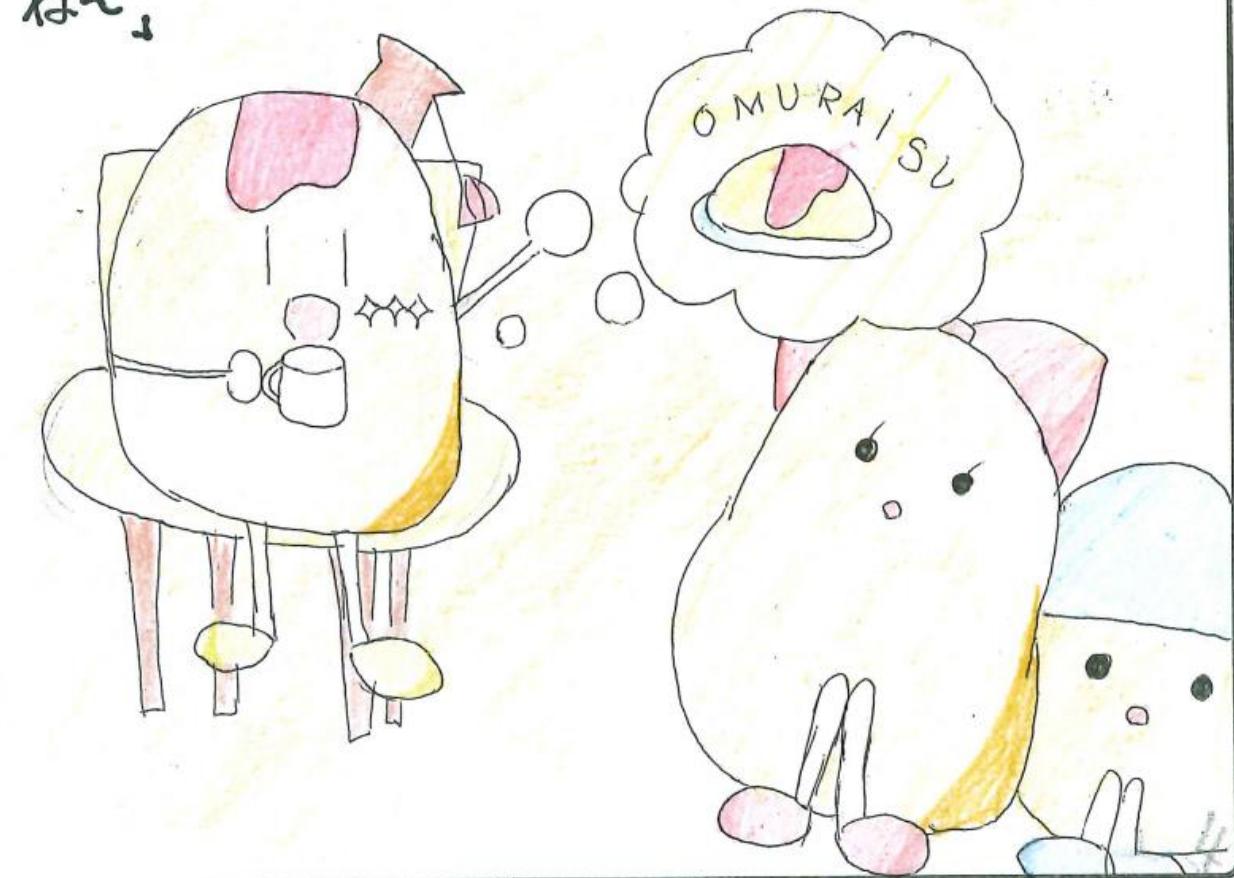
と、たごれかの声かドアのほうから聞こえました。



「むっちゃん！」  
二人は目をかがやかせました。  
このこは最近引っこてきたこで、二人の友達。そして、  
物知りななーとうのむっちゃん。いつもこまつときは二  
人を助けてくれるのです。



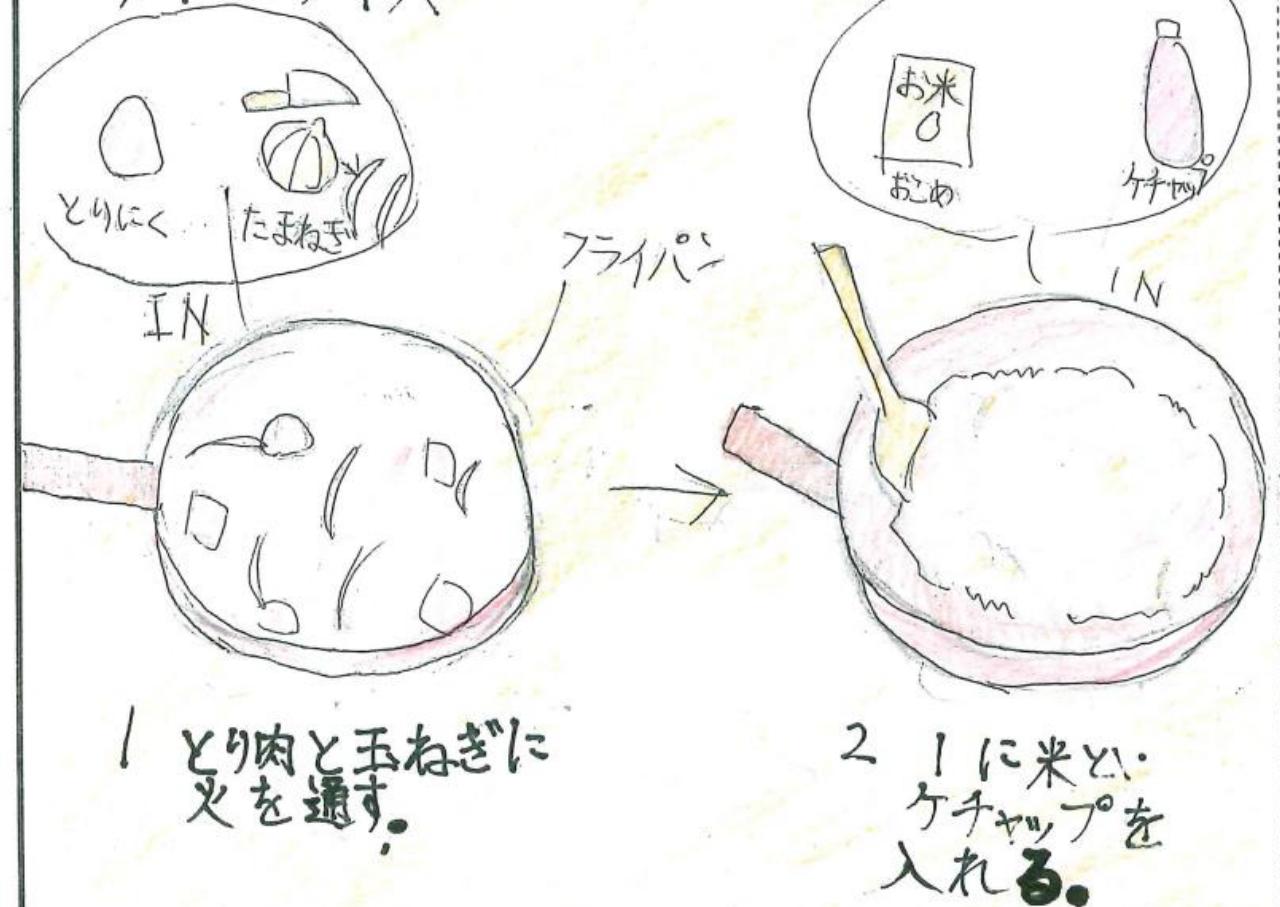
二人は今のじょうきょうをむっちゃんに説明しました。  
「ほおほお。じゃあオムライスを作ろう！」  
「え？ あのおいしいオムライス？」  
「うん。私も手伝うよ！ けっこう簡単につくれるから  
ね～」



## レッソムライスクッキング

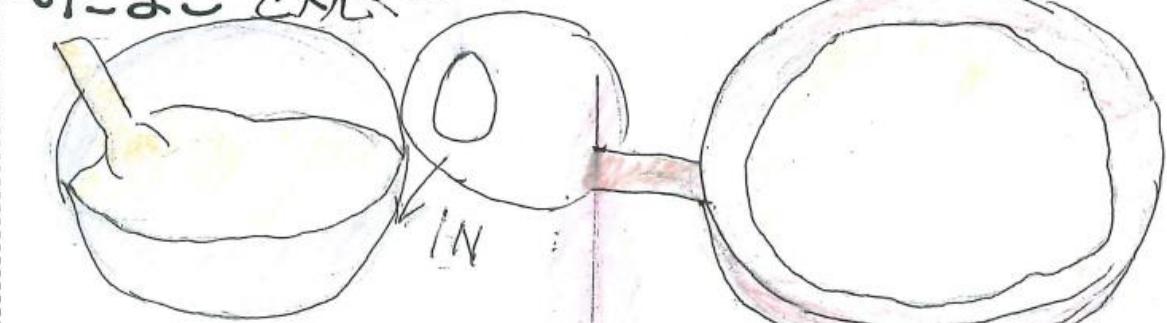
「じゃあ大まかな説明をするね。」

～チキンライス～



5

～たまごを焼く～



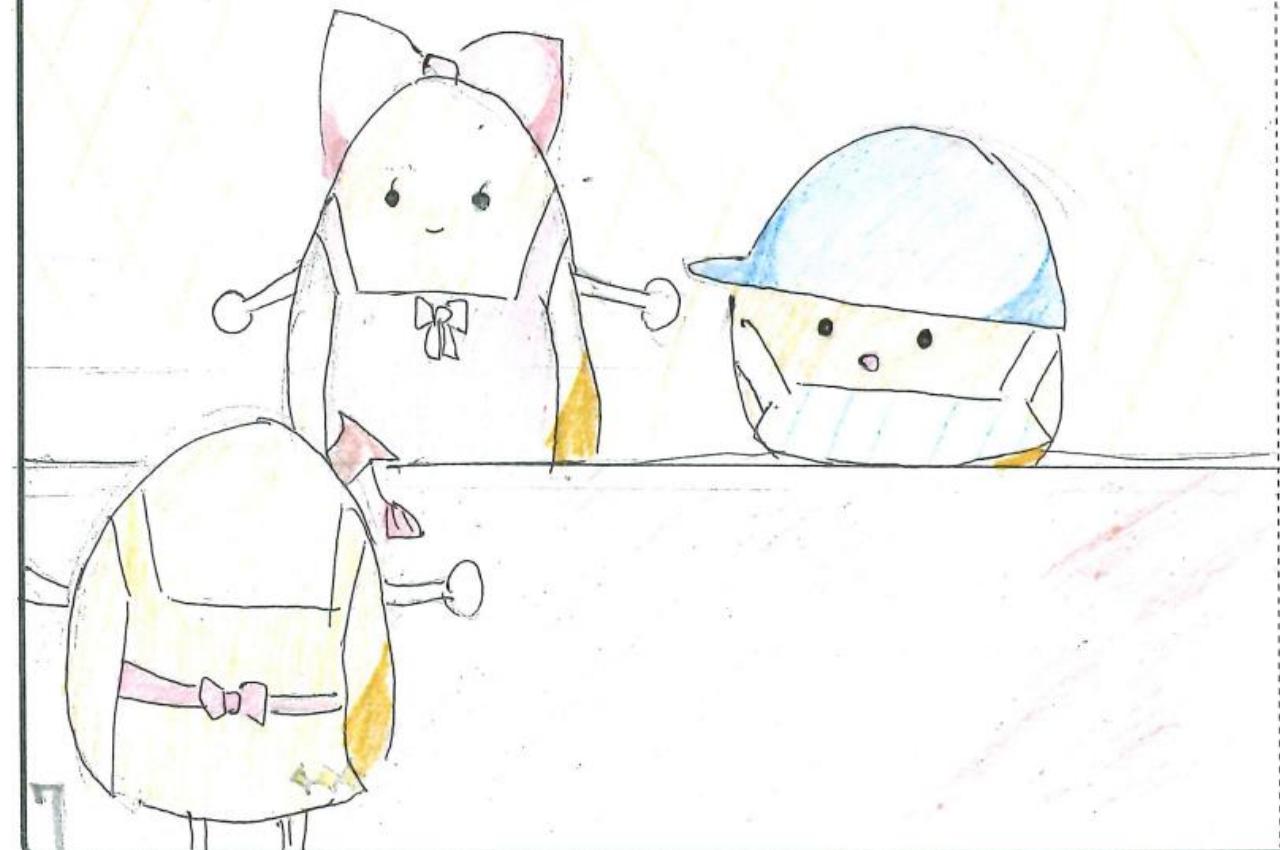
6

## レッソムライスクッキング

「じゃあ、二人とも、作ってみよう！」

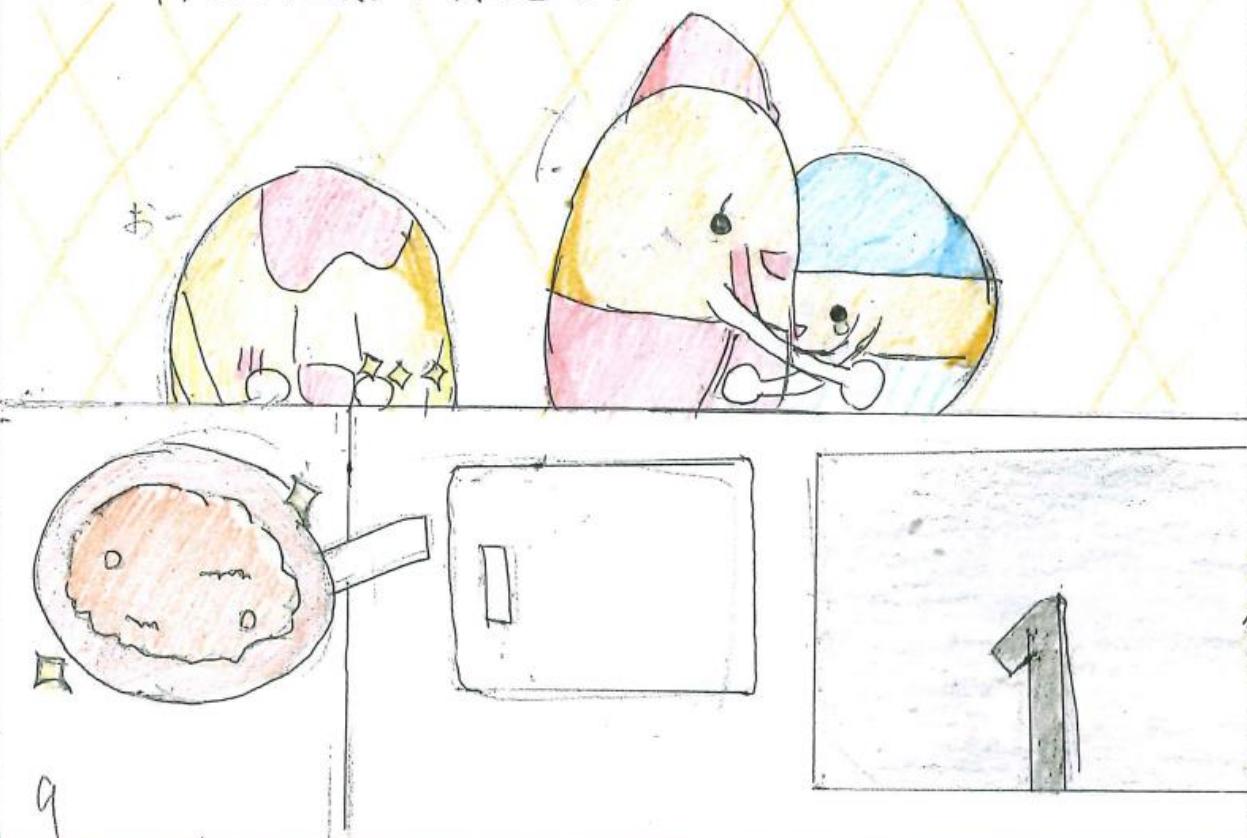
「おー！」

二人はわくわくしながらエプロンを着てキッチンに行きました。準備万たん！  
「じゃあ、チキンライスから作っていこう」  
二人はむっちゃんの説明通りに作っていました。  
「わあ、こげちゃった」二人はとても落ちこみました。  
「大丈夫！まだ初めてだもん、もう一回やってみよう！」

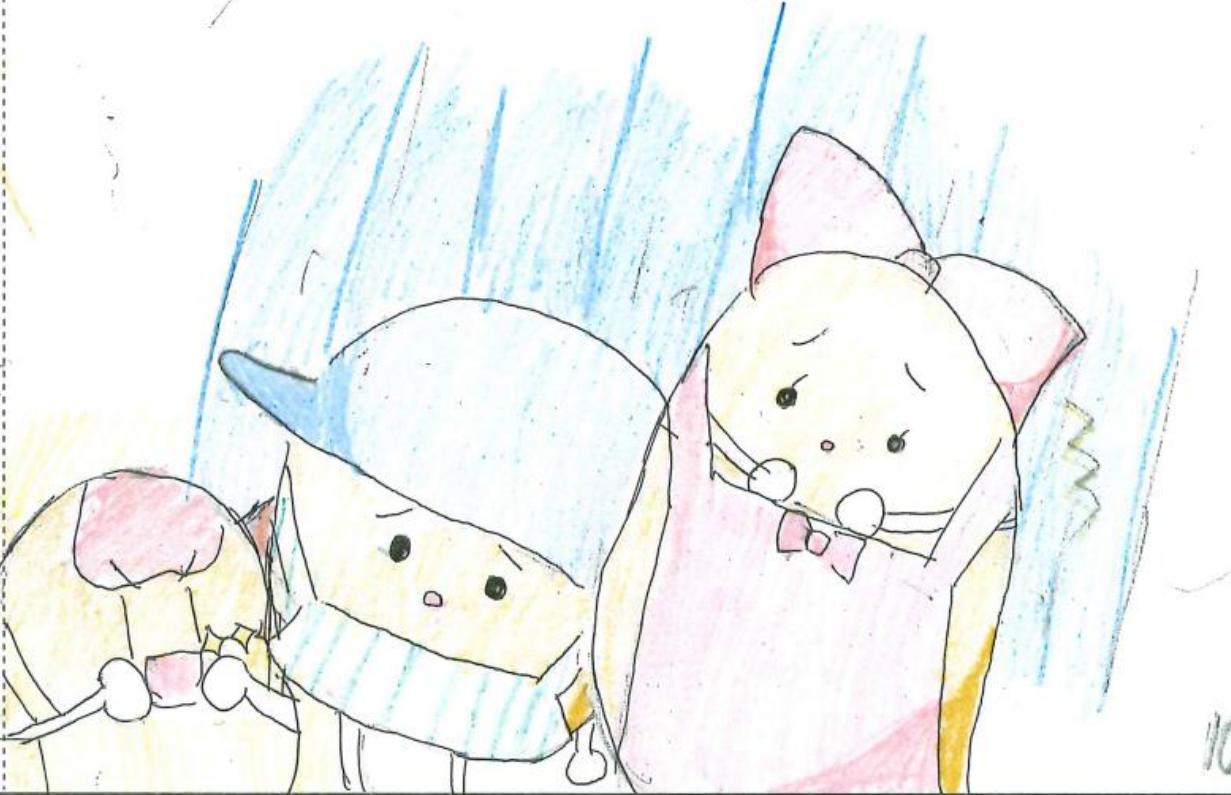


## レッソムライスクッキング

「わあ、できた！  
なっちゃんとうちゃんは大喜び  
あとはたまごを作るだけ。  
「すごい。二回でできちゃうなんて」  
むっちゃんはほめてくれました。



「次はたまごだけど…。しょうじき言ってちょっと難しいかな。」  
二人は心配になりました。たまごは簡単だと思って  
いたのに。  
「でも大丈夫！二人ならできるよ！」



## レッソムライスクッキング

「もうこれで何回目の失敗だろう。」

二人は何回もちゅせんしました。しかし、こげてしまったりちぎれてしまい、全然成功しませんでした。

「もう…無理だよ」うちゅんが言いました。

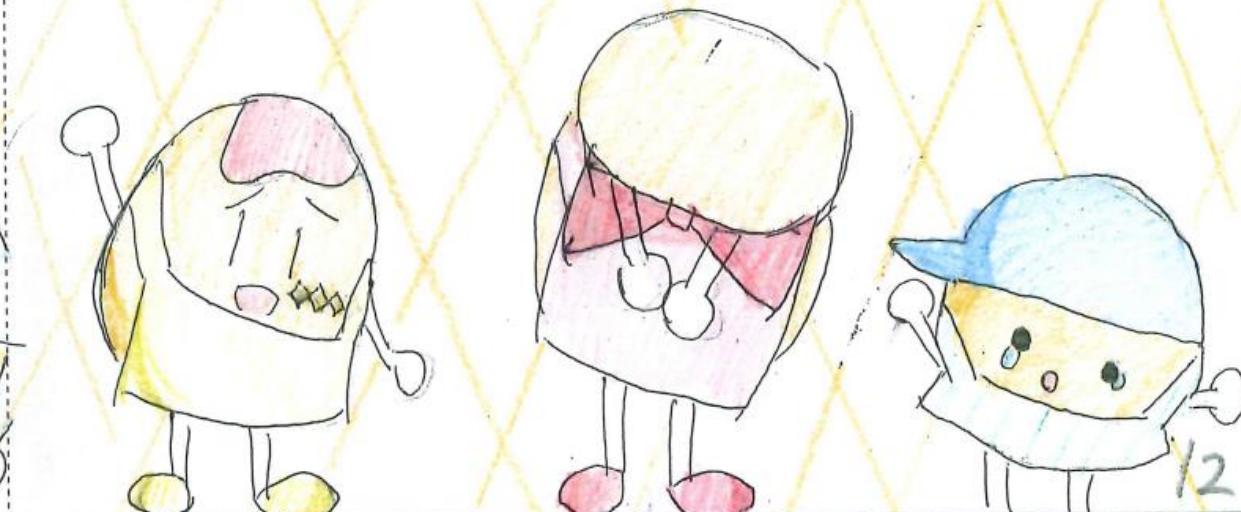
「全然簡単じゃないじゃん。むっちゃんのうそつき」  
なっちゃんは言いました。



「ごめんねえ」

むっちゃんは泣きそうになりながら言いました。  
「あ、ひどいこと言ってごめん。いらっしゃって…  
なっちゃんはあやまりました。

「いいよ。でも、二人共本当にあきらめていいの? 友達は悲しむよ。と中で投げだすの?」  
むっちゃんはさきやくように言いました。



# レッソムライスクッキング

「そっか、みんなが悲しんじゃう。私はやるよ」  
なっちゃんは決意をこめて言いました。

もちろん、ぼくもやるよ。」

「よかったです！さあ続きを始めよう。  
みんなでクッキング再開！



B)

二人はその後、何回も失敗してしまいました。

でも、さっきみたいに弱音ははきません。

ただひたすら友達のためを思ってつくります。



C)

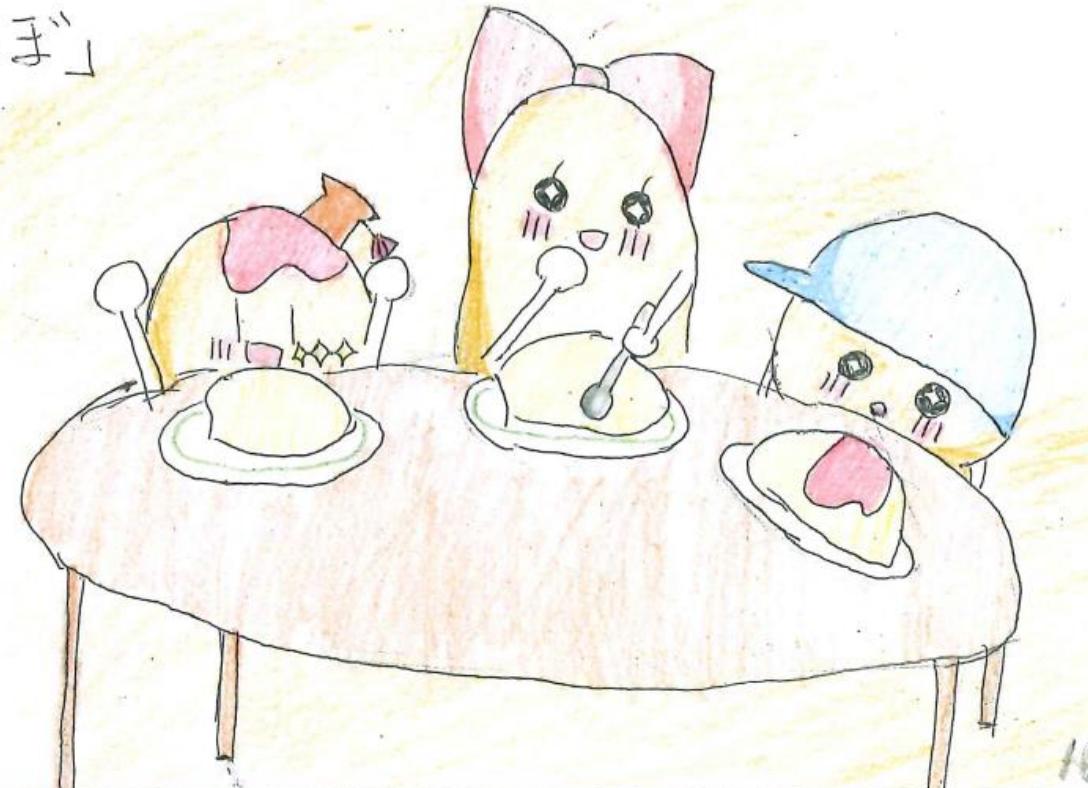
## レッソムライスクッキンク

なっちゃん、うっちゃん、むっちゃんはついに...  
「できだ！」

あきらめずにかんばったからこそおいしそうな  
オムライスができあがりました。



「よし、じゃあ、味がおいしいか確かめてみよう」  
食べてみると、とてもおいしい！  
がんばったかいがありました。  
そしてうっちゃんが言いました。  
「ねえ、明日いっしょに遊ばない？」  
「遊ぼ」



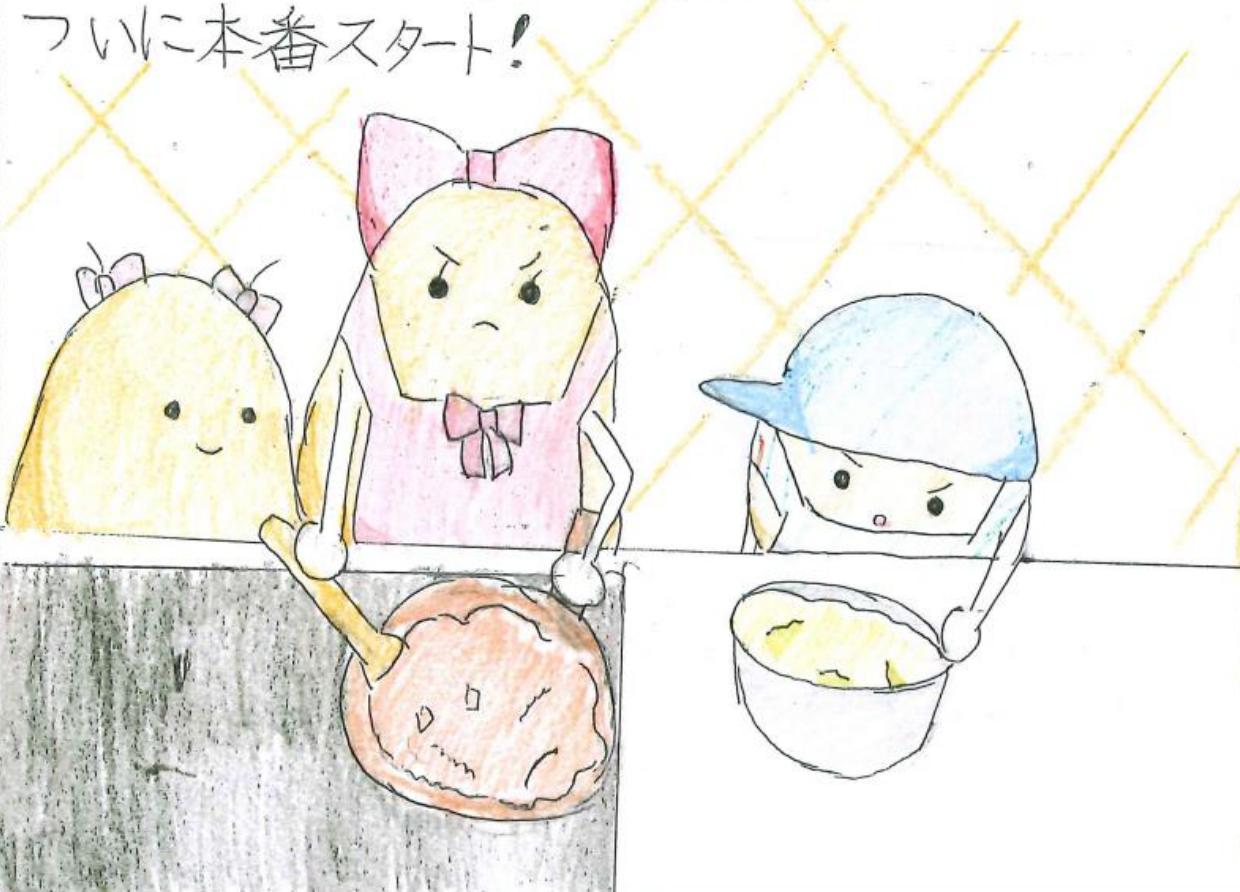
## レッソムライスクッキング

次の日のお昼、ついに二人がオムライスを作るときみためは上手にできました。はたしてみんなの感想は、です。友達のみっちゃんがなっちゃんに聞きました。「わっちゃおいしい！すごーい！」

「え、なっちゃん、何をつくるの？」

「できてからのおたのしみだよ。」

ついに本番スタート！



みためは上手にできました。はたしてみんなの感想は、「わっちゃおいしい！すごーい！」

「やったー！」

大成功！とってもうれしい二人なのでした。

